

令和元年11月18日開催
調 査

第5次福島町総合計画後期実施計画 策定に関する調査特別委員会資料

○資料2 第2期福島町総合戦略の策定について

企 画 課

資料2 第2期福島町総合戦略の策定について

1 基本目標及びKPIの進捗状況等について

総合戦略を推進するに当たっては、毎年度の事業効果を検証し、必要に応じて見直しすることとしております。

検証については、基本目標の数値目標及びKPIについて、福島町地方創生推進会議において4区分評価（A：計画どおり進んでいる。B：概ね計画どおり進んでいる。C：やや計画より遅れている。D：計画どおり進んでいない。）で実施しており、平成30年度実績に係る評価については資料1のとおりとなっております。

各項目に設定した基本目標及びKPIにおいて、多くが「A：計画どおり進んでいる。」「B：概ね計画どおり進んでいる。」となっておりますが、基本目標2の「15歳から29歳までの社会増減人数」、基本目標3の「65歳以上の社会増減人数」、基本目標4の「社会増減人数」については、すでに目標値を下回っている項目や目標達成困難な項目となっております。

2 総合戦略策定について

福島町人口ビジョン・総合戦略の計画期間は、平成27年度から令和元年度までとなっております、今年度が計画最終年度にあたります。

国は、令和元年6月21日に閣議決定された「まち・ひと・しごと創生基本方針2019」において、国の第1期「総合戦略」の総仕上げと併せて、現在と将来の社会的変化を見据えながら、第2期総合戦略を策定することとしています。

また、地方においては、国の「総合戦略」を勘案し、地方創生の充実・強化に向け、切れ目無い取組を進めることが求められることから、各地方公共団体においては、現行の「総合戦略」を検証し、次期「総合戦略」の策定を進める必要があるとしています。

こうしたことから、当町においても令和2年度を初年度とする「第2期福島町総合戦略（仮称）（以下「第2期総合戦略」という。）」を策定するものであります。

3 人口ビジョンの見直し

人口ビジョンについては、平成22年国政調査により策定されていることから、平成27年国勢調査を含め直近の統計調査などを反映した内容で時点修正を行います。

4 第2期総合戦略の概要

(1) 計画期間

第2期総合戦略の計画期間は、令和2年度（2020年度）から令和6年度（2024年度）までの5年間とします。

(2) 基本目標

原則、現在総合戦略に掲げている4つの基本目標を引き継ぐとともに、達成状況などを勘案し、新たな基本目標についても検討を進めます。

●現在総合戦略に掲げている4つの基本目標

①産業の再生による雇用を創出し、次世代を担うリーダー等を育成する

豊かな地域資源を守り増やしながら、今ある産業をより安定したものにするとともに、積極的な産業振興による地場の生産力の向上を図り、地域力を高め、産業を軸に町内の経済を好循環させ、雇用の創出・拡大をめざします。町づくりは、「人づくり」との視点から、次世代を担うリーダー等の育成を積極的に進めあらゆる分野の人づくりを進めます。

②若者等の定住を促進し、子育て環境を充実する

人口減少に歯止めをかけるため若者等の定住につなげる住環境の整備と地域全体で子育てを支えるための、子育て世代への支援を充実し、各世代が住み良さを実感できる環境づくりを進めます。

③町民の安心安全な暮らしを守り、がん予防対策を充実する

小さな町だからこそできる、目配り・気配り・心配りを大切にしながら、町民の安心安全な暮らしを守ります。町民一人ひとりの健康が町を元気にする、町民が健康でいきいきと暮らせるようにがん予防対策を重点に行い健康寿命を延ばします。

④まちを訪れる人を増やし、交流や移住を促進する

福島町を訪れる人を増やし、地域経済を活性化させるとともに、交流人口を拡大させます。また、移住に必要な住宅環境や情報提供などを充実させ、移住を促進します。

(参考) まち・ひと・しごと創生基本方針2019

〈基本目標〉

1. 地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育て活かす
2. 地方への新しいひとの流れをつくる
3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる
4. 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する。

〈国の第2期総合戦略における新たな視点〉

1. 地方へのひと・資金の流れを強化する
 - 将来的な地方移住にもつながる「関係人口」の創出・拡大
 - 企業者個人による地方への寄付・投資等を用いた地方への資金の流れの強化
2. 新しい時代の流れを力にする
 - Society 5.0の実現に向けた技術の活用
 - SDGsを原動力とした地方創生
3. 人材を育て活かす
 - 地方創生の基盤をなす人材に焦点を当て、掘り起こしや育成、活躍を支援
4. 民間と協働する
 - 地方公共団体に加え、NPOなど地域づくりを担う組織や企業と連携
5. 誰もが活躍できる地域社会をつくる
 - 女性、高齢者、障がい者、外国人など誰もが居場所と役割を持ち、活躍できる地域社会を実現
6. 地域経営の視点で取り組む
 - 地域の経済社会構造全体を俯瞰して地域をマネジメント

北海道の「取組の基本方向」(骨子案)

一人ひとりの希望をかなえる	安心して暮らせる豊かな地域をつくる	活力ある産業・雇用をつくる	多様な連携により地域の活力をつくる
広大な大地と恵まれた環境の中、安心して子どもを育み、道民一人ひとりの個性に応じた活躍の場をつくる	個性的な自然・歴史・文化・産業等を有する多様な地域において、人口減少下においても将来にわたり安心して暮らし続けることのできる生活の場をつくる	豊かな自然や高い食料供給力など多様な資源を活かし、力強い経済と、生き生きと働くことのできる就業の場をつくる	地域の枠を超えた連携・協働や、北海道を応援する多くの方々の力を取り組み、地域の活力をつくる

(3) 主な施策と成果目標

現在の総合戦略に基づく施策・KPI の達成状況については、「福島町地方創生推進会議」において検証を行っており、そこでの意見を踏まえるとともに、国・道の総合戦略を勘案して、4つの基本目標の目標数値の達成に向けた施策を見直します。

転出超過に歯止めがかからない現状にありますが、短期間で人口増に転じることは困難でありますので、引き続き子育て支援策・若者の定住対策に取り組むとともに、交流人口及び関係人口の拡大等につながる施策に取り組み地域経済の底上げを図り、人口減少率の鈍化を目指してまいります。

5 策定スケジュール

月	内 容
R元. 7月	○第1回福島町地方創生推進会議 ・委員の委嘱 ・取組状況に係る検証について
～12月	○第2期総合戦略素案策定 ○国の総合戦略策定（閣議決定） ○第2回福島町地方創生推進会議 ・第2期総合戦略諮問
R2. 1月	○第3回福島町地方創生推進会議 ・第2期総合戦略審議
2月	○総務教育常任委員会 ・第2期総合戦略審議 ○第4回福島町地方創生会議 ・議会意見等を踏まえ審議 ・第2期福島町総合戦略答申
3月	○3月会議上程 ○北海道総合戦略策定

福島町総合戦略基本目標及びKPI(平成30年度実績)

(年度)基準値	(年度)実績	(年度)数値目標	進捗率	推進会議による検証結果
---------	--------	----------	-----	-------------

【基本目標1 産業の再生による雇用を創出し次世代を担うリーダー等を育成する】

数値目標		H27	H30	H31		H27	H30	H31		
数値目標	就業者数(人)	H27	1,945	H30	-	H31	1,750	-	-	-
	漁業協同組合員数(人)	H27	184	H30	166	H31	176	94.3%	A	
KPI	漁業協同組合取扱額(億円)	H27	17	H30	15	H31	17	88.2%	A	
	コンブ生産量(t)	H27	332	H30	504	H31	322	156.5%	A	
	水産物ブランド化取組件数(件)	H27	3	H30	0	H31	3	0.0%	D	
	水産加工場就業者数(人)	H27	302	H30	200	H31	302	66.2%	B	
	外国人研修生受入れ者数(人)	H27	20	H30	24	H31	27	88.9%	A	
	専業農家戸数(戸)	H27	8	H30	8	H31	9	88.9%	A	
	経営耕地面積(ha)	H27	125	H30	125	H31	125	100.0%	A	
	有害駆除従業者数(人)	H27	3	H30	4	H31	4	100.0%	A	
	林業専用道の整備延長(m)	H27	7,983	H30	9,473	H31	9,583	98.9%	A	
	原木シイタケ生産量	H27	7	H30	10	H31	8	125.0%	A	
	商工業事業所数(事業所)	H27	224	H30	202	H31	192	105.2%	A	
	商店街を活用したイベントの年間開催数(回)	H27	3	H30	2	H31	3	66.7%	B	
	商工会への補助事業件数(件)	H27	2	H30	2	H31	1	200.0%	A	
	人財育成基金造成(千円)	H27	0	H30	50,102	H31	250,000	20.0%	B	
	水産業担い手支援者延べ人数(人)	H27	11	H30	21	H31	23	91.3%	A	
	農林業担い手支援者数(人)	H27	1	H30	2	H31	2	100.0%	A	

【基本目標2 若者等の定住を促進し、子育て環境を充実する】

数値目標		H27	H30	H31		H27	H30	H31		
数値目標	H27.10月～H32.9月までの合計出生人数(人)	H27	0	H30	55	H31	96	57.3%	B	
	H27.10月～H32.9月までの15歳から29歳までの社会増減人数(▲人)	H27	-	H30	▲64	H31	▲70	91.4%	C	
KPI	定住促進住宅等奨励金延べ補助件数(件)	H27	12	H30	19	H31	24	79.2%	A	
	使用料等無料化件数(件)	H27	0	H30	4	H31	4	100.0%	A	
	定住促進住宅整備プラン策定件数	H27	0	H30	1	H31	1	100.0%	A	

【基本目標3 町民の安心安全な暮らしを守り、がん予防対策を充実する】

数値目標		H27	H30	H31		H27	H30	H31		
数値目標	「これからも福島町に住み続けたい」と考える人の割合を増加させる(%)	H27	45	H30	-	H31	-	-	-	-
	H27.10月～H32.9月までの65歳以上の社会増減人数(▲人)	H27	0	H30	▲60	H31	▲90	66.7%	C	
KPI	特定健診の受診率(%)	H27	50	H30	26	H31	60	43.3%	C	
	肺がん検診年間受診者数(人)	H27	400	H30	375	H31	440	85.2%	A	
	健康フェスティバル参加人数(人)	H27	220	H30	200	H31	220	90.9%	A	
	温泉健康保養センターの年間利用者数(人)	H27	67,000	H30	65,120	H31	65,000	100.2%	A	
	要介護者の割合(%以下)	H27	17	H30	16	H31	24	66.7%	A	
	老人クラブの加入率(%)	H27	26	H30	18	H31	34	52.9%	B	
	ふれあい教室年間開催数(回)	H27	90	H30	70	H31	90	77.8%	A	

【基本目標4 町を訪れる人を増やし、交流や移住を促進する】

数値目標		H27	H30	H31		H27	H30	H31		
数値目標	H27.10月～H32.9月までの社会増減人数(▲人)	H27	0	H30	▲220	H31	▲182	120.9%	D	
KPI	観光客の年間入込数(人)	H27	70,100	H30	80,176	H31	80,000	100.2%	A	
	横綱記念館の年間入館者数(人)	H27	9,376	H30	8,744	H31	11,000	79.5%	A	
	青函トンネル記念館の年間入館者数(人)	H27	8,360	H30	7,958	H31	10,000	79.6%	A	

※評価の区分「A 計画どおり進んでいる。」「B 概ね計画どおり進んでいる。」「C やや計画より遅れている。」「D 計画どおり進んでいない。」